

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組 これまでの取組状況	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
13223武蔵村山市	③学校と家庭の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	学習に課題や苦手意識のある児童・生徒が学習することに対しての抵抗感を減らすことが重要である。	地域未来塾の学習を通し、地域の方々との交流の中で安全な時間を過ごす。	放課後の時間帯に学習できる地域未来塾としては、目標としている市内小中学校全校実施ができなかった点が反省点である。	地域未来塾の全校実施	学校との連絡・調整を密にとる。実施計画について具体的に示してもらう。	12	校	13	14	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 昨年度、未実施の学校と密に調整をした結果、実施に至り、本年度の目標を達成することができた。	https://www.city.musashimurayama.lg.jp/shisei/boshu/sankasha/1014880.html

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。